

対象企業26社のうち、売上高が増収だったのは14社、減収だったのは12社だった。営業利益は増益18社、減益8社、経常利益は増益19社、減益7社、中間純利益は増益19社、減益7社となった。合計売上高は2兆6573億円、営業利益5768億円、経常利益6213億円、中間純利益3823億円。

【関連表3面】

S M O 協 会 定 例 会 C R C 認 定 制 度 と 自 主 G L の 検 討 状 況 を 報 告

日本S M O 協会は19日、第2回定例会を開催し、同協会が作成を進めている「C R C 認定制度」と「自主ガイドライン (G L)」についての検討状況を報告した。

C R C 認定制度については、2005年6月に第1回の認定試験を実施する計画で、同年4月1日にC R C 認定に関する教育要綱と細則を施行する方針。自主G L は、S M O の業務内容や業務手順に関する規範を定めたもの。S M O 業務の品質や信頼性を確保するための規範と位置づけられている。前日開催の同協会理事会で最終案 (ドラフト) が承認された。今後、会員企業から意見を受け付けたうえで、最終的な自主G L とする考えだ。同協会の尾芝一郎会長は、定例会のあいさつで、「同協会ができて1年半がすぎ、活動はますます活発になった」と総括した。また、今夏に同協会会員企業を対象に実施した実態調査結果 (回答41社) について触れ、今年8月時点で41社で延べ1281プロトコルを実施していたと紹介。C R C (消産コーディネーター) の数も今年1500人を超え、毎年増えていると説明した。尾芝会長は、これらの結果を受けて、「S M O が、臨床試験の実施で必須の組織になっているといえる。S M O に対する期待とともに発展を示している」と指摘。今後については、薬事法改正について、「仕事の内容や仕事のパートナーに影響及ぼす。変革に合わせてわれわれも対応していかないといけない」と話した。